

平成 28 年 9 月 15 日

要 望 書

鹿児島市長 森 博 幸 様

鹿児島県経営者協会

会 長 本 坊 修

鹿児島経済同友会

代表幹事 玉 川 文 生

代表幹事 上 村 基 宏

鹿児島県中小企業団体中央会

会 長 小 正 芳 史

J R 磯新駅設置に向けた協議会の設置について

鹿児島市磯地区における J R 新駅の設置については、平成 27 年 7 月に「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録されて以降、関係当事者において、実現に向けた検討が進められていると聞いております。

磯地区は、鹿児島市の主要観光地のひとつでありながら、国道 10 号の道路渋滞や地形的な制約があることから、周辺交通の円滑化が課題であるとされてきました。J R 磯新駅を設置することは、世界遺産地区を訪れる人びとに定時性・速達性を約束するものであり、磯地区と鹿児島駅の交通アクセスが大幅に改善されることによって、鹿児島駅の徒歩圏にある鶴丸城、石橋記念公園、かごしま水族館やドルフィンポートなど歴史・文化資源や商業施設への来訪動機が高まり、観光消費機会が増大していくことが見込まれます。加えて、現在、実現に向けて鋭意進められている鶴丸城御楼門・御角櫓復元事業の成功の実を一層高めることにもつながるものと予想されることから、鹿児島市の観光まちづくりの発展にも大いに貢献するものと期待されます。

また、九州新幹線の全線開業以降、鹿児島市の観光客は増加傾向にありますが、平成30年の明治維新150周年事業、平成32年の鹿児島国民体育大会と大型催事が予定されるなど、今後も鹿児島市は国内外から多くの観光客を迎えなければならないことから、市内随一の観光地である磯地区への交通アクセス改善は、喫緊の課題であるといえます。加えて、東京オリンピック・パラリンピックに訪れた訪日外国人旅行客が、鹿児島市に足を伸ばしやすくするためにも、世界遺産地区に駅があることは重要であると考えます。

さらに、鹿児島県外からの観光客のみならず、磯海水浴場の利用者や世界遺産やジオパークの学習者など、鹿児島市民にとっても大いに役立つものと考えられます。とりわけ、運転免許や自動車を持たない（持てない）交通弱者の利便性を大きく向上させるものであります。

最後に、JR磯新駅は、世界文化遺産と桜島・錦江湾ジオパーク、薩南諸島につながる環境に囲まれた「世界文化遺産と世界自然遺産を両有する県」を象徴するものとなり、ホームから広がる桜島と錦江湾の眺望は「世界一美しい駅」として発信され、鹿児島市の知名度やプロモーションの向上に大きく貢献すると確信いたします。

については、私たちは、地元住民をはじめとする新駅設置に向けた機運の高まりを受けて、新駅設置と渋滞問題の解決を両立させるための協議会を設置し、関係者が叡智を結集して、課題解決のため対策案を講じられるよう、要望いたします。

以上